

公益社団法人 松戸青年会議所 人財育成委員会	
委員長:柴崎 亮	
委員会設置背景	青年会議所は、世界中のメンバーが共通して「JCIクリード」を理念に掲げ、それぞれの地域で活動を展開しています。松戸青年会議所においても、理念のもとに多くの運動が行われてきました。しかし近年、活動の多様化や参加状況の変化により、理念の本質や組織としての意義が個々に浸透しきれていない様子も見受けられます。本来共有されるべき価値観や志が、十分に伝わっていない現状があるからこそ、あらためて理念に立ち返り、組織としての一体感や成長を育む土台を創る必要があります。
設置目的	青年会議所の運動の根幹である組織の理念に立ち返り、JCIクリード、ミッション、ビジョン、JC宣言文および綱領の理解を深め、青年会議所運動の意義を正しく認識するとともに、メンバー一人ひとりが運動を通じて志を共有し、共に成長し合える組織になることを目的とします。
活動概要	<p>【共1】自らの選択に責任を持ち、困難があってもやり抜く</p> <p>【共2】総会、例会、地域行事、対外事業等への積極的な参加</p> <p>【共3】日本青年会議所、関東地区協議会、千葉ブロック協議会主催事業への積極的な参加</p> <p>【共4】会員拡大</p> <p>【共5】オブザーバーの動員</p> <p>【共6】新入会員のフォロー</p> <p>【共7】他委員会及び室との連携と協力</p> <p>【共8】新入会員が事業構築を学び、新入会員だからこそできる事業の開催</p> <p>1.互いを知り一体感を醸成する事業の開催</p> <p>2.青年会議所の理解度を高める事業の開催</p> <p>3.新入会員向け説明会の企画、運営、実施</p> <p>4.メンバー全員がセレモニーを唱和できる取り組みの実施</p>
運動計画 (KPIも記載)	<p>1.互いを知り一体感を醸成する事業の開催</p> <p>KPI: アンケート結果、参加者の90%以上が「自分以外のメンバーの知らない部分を知り、メンバー同士の絆を育むことができた」と回答していただきます。</p> <p>2.青年会議所の理解度を高める事業の開催</p> <p>KPI: アンケート結果、参加者の90%以上が「自分の理念と青年会議所の理念の共通点を見出せた」と回答していただきます。</p> <p>3.新入会員向け説明会の企画、運営、実施</p> <p>KPI: 新入会員の参加率100%にします。</p> <p>4.メンバー全員がセレモニーを唱和できる取り組みの実施</p> <p>KPI: アンケート結果、メンバーの100%が「セレモニーを何も見ずに唱和できるようになった」と回答していただきます。</p>
運動手法	<p>1.メンバー同士が互いに成長し合える組織を創るために、スポーツとコミュニケーションを用いて、互いを知り一体感を醸成する事業を開催し、仲間との絆を深めることで、メンバー一人ひとりのモチベーションを向上させます。</p> <p>2.青年会議所運動を最大化するためには、青年会議所への理解度を高める事業を開催し、自らの理念と青年会議所の理念の共通点を見出すことで、参加率を向上させます。</p> <p>3.入会間もないメンバーに高いモチベーションで運動に参画してもらうために、定期的に新入会員説明会を実施し、青年会議所の活動のやりがいや意義を理解してもらうことで、新入会員の参加意欲を向上させます。</p> <p>4.メンバー同士が同じ価値観をもって青年会議所活動に取り組むために、メンバー全員がセレモニーの唱和ができる取り組みを実施し、セレモニーの意味を理解することで、組織の団結力を育みます。</p>
SDGs	【4.5.8.10.17】
パートナー	<p>公益社団法人日本青年会議所(事業等における実施支援)</p> <p>公益社団法人日本青年会議所関東地区協議会(事業等における実施支援)</p> <p>公益社団法人日本青年会議所関東地区千葉ブロック協議会(事業等における実施支援)</p> <p>公益社団法人松戸青年会議所OB会員(事業等における実施支援)</p> <p>松戸商工会議所(事業等における実施支援)</p> <p>松戸市民劇場(事業等における実施支援)</p> <p>勤労会館(事業等における実施支援)</p> <p>株式会社ADブランニング(事業等における実施支援)</p> <p>LINE株式会社(LINEによる実施支援)</p> <p>Meta Platforms, Inc.(SNSでの事業広報活動による実施支援及び成果発信)</p>
対外事業	無
地域行事	無

※事業概要の【共】は松戸青年会議所全メンバー共通の年間事業方針を記載